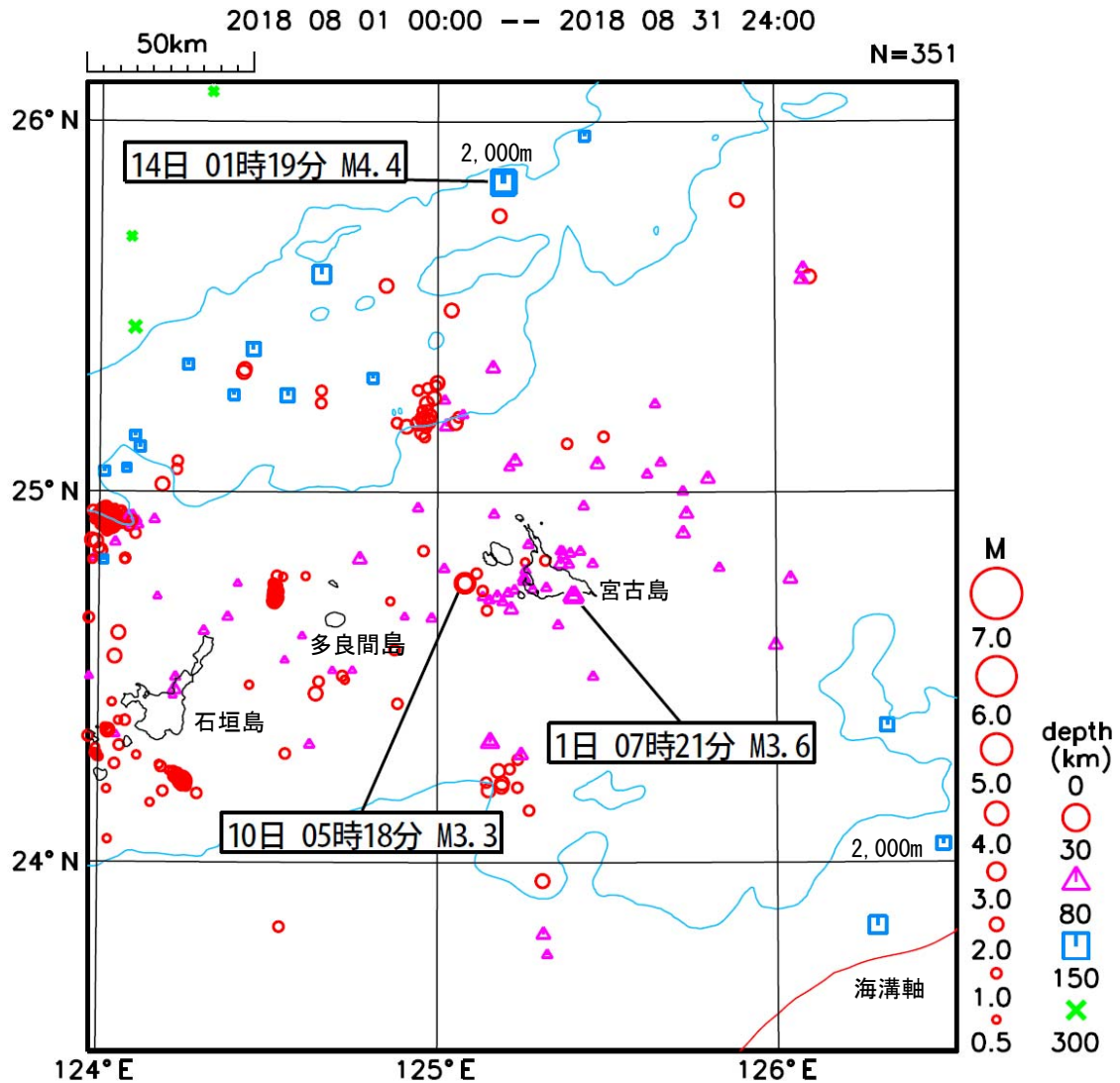


宮古島地方の地震活動図

2018年（平成30年）8月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数 (マグニチュード0.5以上の回数です。)
管内で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は351回（7月213回）で、震度1以上を観測した地震は3回（7月3回）でした。

1日07時21分に宮古島近海（宮古島の南東約15km）で発生した地震（M3.6、深さ47km）により、宮古島市上野で最大震度2を観測したほか、宮古島と伊良部島で震度1を観測しました。

10日05時18分に宮古島近海（宮古島の西南西約20km）で発生した地震（M3.3、深さ22km）により、宮古島市で最大震度1を観測しました。

14日01時19分に宮古島北西沖（宮古島の北約115km）で発生した地震（M4.4、深さ103km）により、宮古島で最大震度1を観測しました。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:8月1日~31日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2018年08月01日07時21分 沖縄県	宮古島近海	24° 43.1' N	125° 24.0' E	47km	M3.6
	震度 2 : 宮古島市上野支所*				
	震度 1 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市伊良部国仲, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市平良西里* 宮古島市下地*, 宮古島市伊良部長浜*				
2018年08月10日05時18分 沖縄県	宮古島近海	24° 45.2' N	125° 04.8' E	22km	M3.3
	震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市伊良部国仲, 宮古島市下地*, 宮古島市伊良部長浜*				
2018年08月14日01時19分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 50.1' N	125° 11.6' E	103km	M4.4
	震度 1 : 宮古島市下地*				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

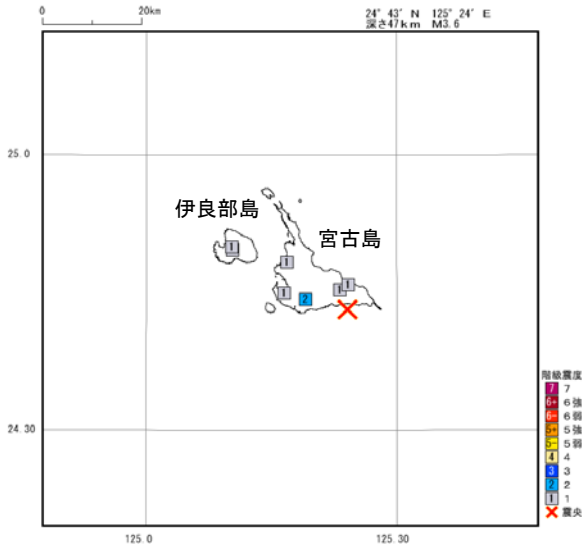
※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

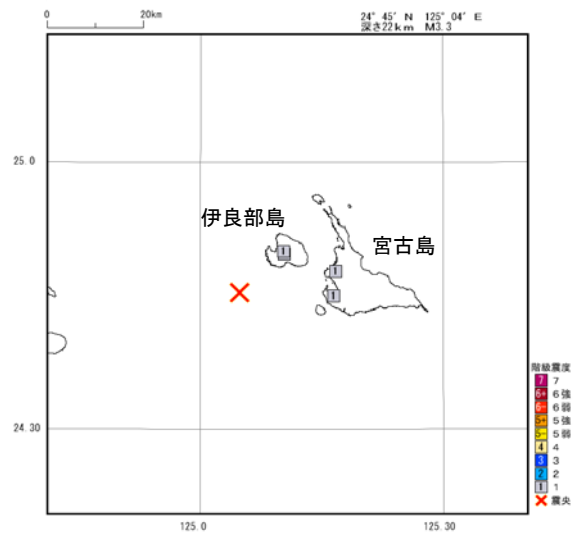
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

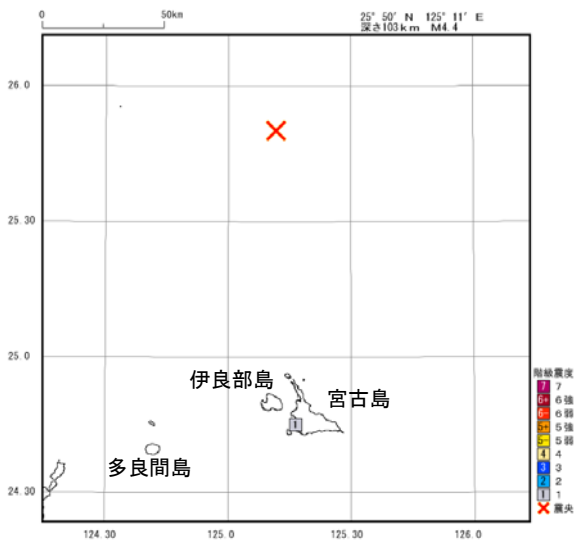
2018年8月1日07時21分 宮古島近海の地震の震度分布図



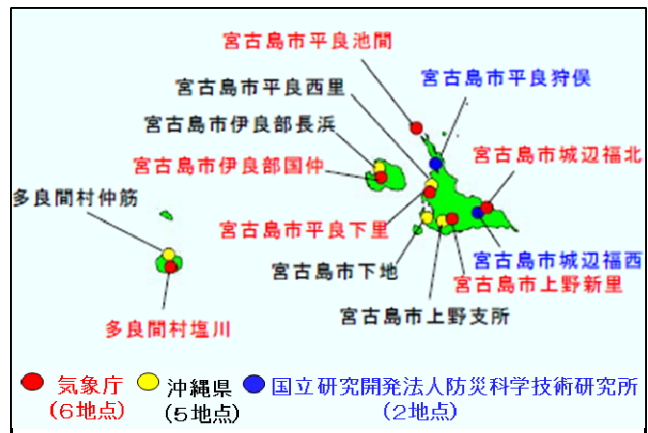
2018年8月10日05時18分 宮古島近海の地震の震度分布



2018年8月14日01時19分 宮古島北西沖の地震の震度分布



宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <https://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



沖縄にも活火山があることをご存知ですか？

～気象庁が発表する噴火警報・噴火予報～

私たちが暮らしている沖縄地方は、活火山とは無縁だと思いませんか？活火山とは、概ね過去1万年以内に噴火した火山や、現在も活発な噴気活動のある火山のことです。現在、日本には111の活火山があり、このうち沖縄県内には2つの活火山があります。

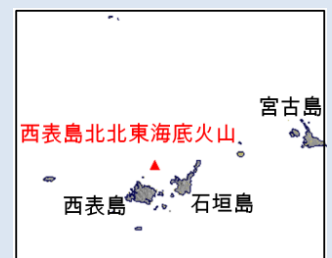
硫黄島

●硫黄島は、鹿児島県徳之島の西方約60kmにある無人の火山島で、これまでに10回噴火した記録があります。1959年の噴火では、3000mの噴煙や、噴石、降灰がありました。泥と硫黄が海上に流出し、全島民86人が島外に移住しました。



西表島北北東海底火山

●西表島北北東海底火山は、西表島の北北東約20kmの沖合にある海底火山です。1924年10月31日に、西表島北北東海底火山は突如海底噴火し、翌日は付近の海面一帯に多量の軽石が漂流しました。その後、軽石は黒潮の流れで日本各地へ漂着しました。



日本活火山総覧(第4版)(気象庁編、2013)による。

気象庁が発表する噴火警報・噴火予報

気象庁は、**生命に危険を及ぼす火山現象**の発生やその拡大が予想される場合には噴火警報を発表します。硫黄島は「噴火警戒レベルが運用されていない火山」として、西表島北北東海底火山は「海底火山」として噴火警報および噴火予報を発表します。平成30年7月現在、この2つの火山は静穏な状況で噴火の兆候は認められないため、「噴火予報(活火山であることに留意)」となっています。

噴火警戒レベルが運用されていない火山(沖縄県では硫黄島が対象)

種別	名称	対象範囲	警戒事項等
特別警報	噴火警報(居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	居住地域嚴重警戒
警報	噴火警報(火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	入山危険
		火口から少し離れた所までの火口周辺	火口周辺危険
予報	噴火予報	火口内等	活火山であることに留意

海底火山(沖縄県では西表島北北東海底火山が対象)

種別	名称	対象範囲	警戒事項等
警報	噴火警報(周辺海域)	周辺海域	周辺海域警戒
予報	噴火予報	直上	活火山であることに留意

※上記の表は、簡略化されています。詳細は気象庁HPを確認してください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/volinfo.html>

